

## 第1回坂出市立中学校標準服のあり方に関する検討委員会 資料

### ◆現状・目的

坂出市内の中学校では、長年、学校ごとに決められた学生服、男子は詰襟の学生服、女子はセーラー服を着用しています。しかしながら、登下校を含め夏季時期に過ごしやすい服装、保護者の負担軽減、特に男女を区別して指定している現在の学生服は、性的マイノリティの方々への配慮やジェンダーの平等の視点からも課題があると捉えています。

県内の公立中学校においてもブレザータイプの学生服に変更する学校が増えています。

坂出市中学校長会からブレザー型学生服の導入についても要望書の提出があり、坂出市議会においても令和5年6月および9月においてジェンダーレス学生服の導入についての一般質問がされたところです。これらのことから坂出市立中学校標準服のあり方に関する検討委員会を設置して、小中学生や保護者の意向をお聞きしながら、上記課題の改善を含む、学生服に対する経済的負担の軽減、多様性への配慮、機能性の向上等について、協議、検討を行っていきます。

### ◆検討事項

- 坂出市立中学校標準服（ブレザー型）の導入の可否  
令和7年4月となると令和6年4月末には仕様決定が必要  
【導入する場合】
- 標準ブレザー・スラックス・スカートのデザインと仕様
- 上限価格
- 選定方法
  - ・生徒・保護者の意見の反映方法（生徒会からの意見、アンケートなど）
- 各学校での導入時期等
  - ・各学校で検討  
（導入後2年間は、学生服、セーラー服も可とし、3年後（令和9年4月）からブレザーで統一が望ましい）
- ブレザーの下の着衣、エンブレムの可否等

### 第2回 検討委員会で決定したいこと（目標）

- 坂出市立中学校標準服（ブレザー型）の導入の可否
- 導入時期（目標）
- 導入後2年間は、詰襟学生服、セーラー服も可とし、3年後（令和9年4月）から統一